

麻しん・風しん対策への 取組状況と評価について

第1回麻しん・風しん対策推進会議
平成26年9月12日

厚生労働省 健康局 結核感染症課

通知及び事務連絡等

- 平成25年2月26日「先天性風しん症候群の発生予防等を含む風しん対策の一層の徹底について（情報提供及び依頼）」の一部改正について（結核感染症課長通知）
- 平成25年4月26日「職域における風しん対策について」（安全衛生部労働衛生課長通知）
- 平成25年6月14日「風しんの任意の予防接種の取扱いについて（協力依頼）」（結核感染症課長通知）
- 平成25年7月02日 通知「風しんワクチンの安定供給対策について（協力依頼）（結核感染症課長通知）」を掲載しました
- 平成26年2月7日 事務連絡「麻しん患者の増加について」
- 平成26年4月15日 事務連絡「麻しん患者の増加について（情報提供及び協力依頼）」

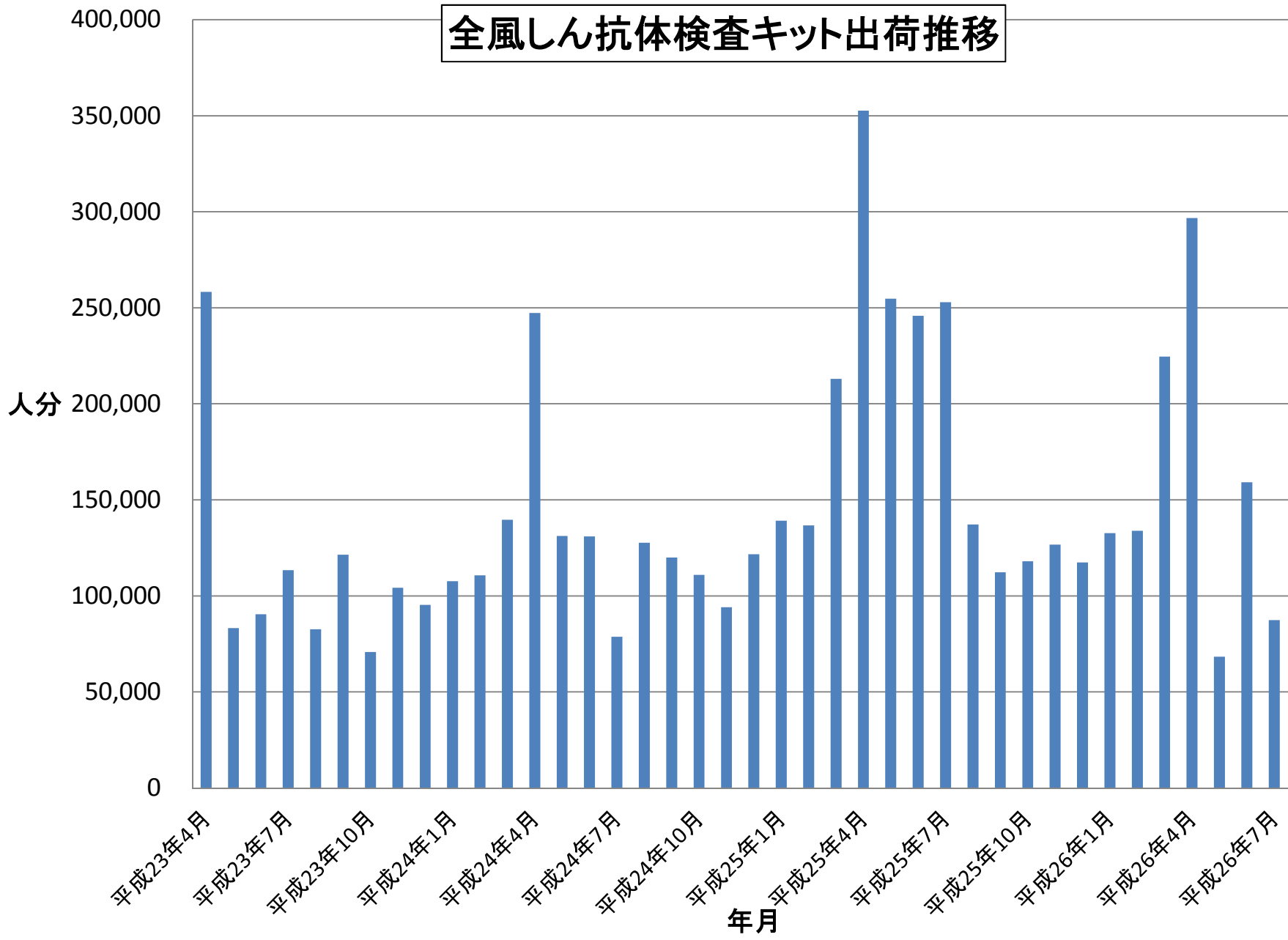
ワクチンの需給状況

麻しん及び風しん含有ワクチンの販社による医療機関納入実績及び定期接種実施者数
平成24年度まで定期接種として3期、4期接種を実施

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
M R +	A. 医療機関納入実績	4,283,310	4,334,630	4,248,800	3,362,587
	B. 定期接種実施者数	4,072,831	4,072,542	4,161,124	2,028,342
	A - B	210,479	262,088	87,676	1,334,245
M R +	A. 医療機関納入実績	4,288,075	4,343,355	4,321,896	3,372,840
	B. 定期接種実施者数	4,161,226	4,074,162	4,162,958	2,028,316
	A - B	126,849	269,193	158,938	1,344,524

- 平成24年度には麻しん含有ワクチンに比して風しん含有ワクチンの任意接種者数が増加した。
- 平成25年度には麻しん及び風しん含有ワクチン共に任意接種数が大幅に増加した。

全風しん抗体検査キット出荷推移



普及啓発及び広報活動

- 政府インターネットテレビ

生まれてくる赤ちゃんのために～「風しん」拡大を食い止める！

- 政府公報オンライン

油断できない 風しんの危険性

- お役立ち情報

生まれてくる赤ちゃんのために防ごう！

大人の風しん



Weekly ニッポン!!



麻しんに関する特定感染症予防指針の改正（概要）

○目標

平成27年度までに麻しんの排除を達成し、世界保健機関による麻しんの排除の認定を受け、かつ、その後も麻しんの排除の状態を維持することを目標とする（注）。

○届出・検査・相談体制の充実

医師による麻しんの届出に当たっては、可能な限り、診断後24時間以内に臨床診断としての届出、血清IgM抗体検査等の血清抗体価の測定の実施及びウイルス遺伝子検査用の検体の提出を求め、麻しんではないと判断された場合には届出の変更や取下げを求めることとする。

また、可能な限り、国立感染症研究所等において、遺伝子配列の解析を行う。さらに、都道府県等は、麻しん対策の会議を設置した上で、地域における施策の進捗状況を評価するものとし、必要に応じて、関係団体と連携して、麻しんの診断等に関する助言を行うアドバイザー制度の設置を検討するものとする。

○第1期及び第2期の定期接種の接種率目標(95%以上)の達成・維持

麻しんの予防接種を2回接種することと、その接種率を95%以上とすることが重要であることから、引き続き、文部科学省等と連携し、第1期及び第2期の接種率目標の達成と維持を行う。

（注）平成24年に世界保健機関西太平洋地域事務局より新たな定義として「適切なサーベイランス制度の下、土着株による感染が1年以上確認されないこと」が示され、また、麻しん排除達成の認定基準として「適切なサーベイランス制度の下、土着株による感染が3年間確認されず、また遺伝子型解析により、そのことが示唆されること」が示された。現在、同機関による排除認定作業が行われている。

麻しんに関する特定感染症予防指針の改正（概要）

○第3期及び第4期の定期接種の時限措置の終了と今後の新たな対策

5年間の時限措置の実施により、10代の年齢層に2回目の接種機会が与えられ、多くの者が接種を受けた。その結果、当該年齢層の麻しん発生数の大幅な減少と大規模な集団発生の消失、抗体保有率の上昇を認めたことから、時限措置を行った当初の目的はほぼ達成することができたと考えられる。

一定程度の未接種者の存在が課題として残るが、時限措置を延長することで得られる効果が限定的と予想されることや、海外からの麻しんの輸入例が中心となりつつある現状及び特定の年齢層に限らず全ての年齢層に感受性者が薄く広く存在することが示唆されていること等を踏まえ、時限措置は当初の予定どおり平成24年度をもって終了することとする。

今後は、麻しん患者が一例でも発生した場合に、積極的疫学調査の実施や、周囲の感受性者に対して予防接種を推奨することも含めた対応を強化する必要がある。

○国際貢献

国際機関と協力し、麻しんの流行国の麻しん対策を推進することは、国際保健水準の向上に貢献するのみならず、海外で感染し、国内で発症する患者の発生を予防することにも寄与する。

そのため、国は、世界保健機関等と連携しながら、国際的な麻しん対策の取組に積極的に関与する。

○排除認定会議の開催

国は、麻しんが排除・維持状態かを判定し、世界保健機関に報告する排除認定会議を設置する。

○普及啓発の充実

厚生労働省は、文部科学省や報道機関等の関係機関との連携を強化し、国民に対し、麻しんとその予防に関する適切な情報提供を行うよう努めるものとする。

風しんに関する小委員会

- 平成25年9月2日厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会及び厚生科学審議会感染症部会の下に「風しんに関する小委員会」を設置
- 同年9月30日、10月21日、11月19日、12月19日、1月22日に計5回の風しんに関する小委員会を開催し、特定感染症予防指針の策定について審議

○目標

早期に先天性風しん症候群の発生をなくすとともに、平成32年度までに風しんの排除を達成することを目標とする。

○定期予防接種の接種率目標(95%以上)の達成・維持

風しんの定期接種（1歳児、小学校入学1年前の2回）の接種率をそれぞれ95%以上とする。

○成人に対する抗体検査・予防接種の推奨

企業等と連携し、雇用時等の様々な機会を利用して、従業員等が罹患歴又は接種歴を確認できるようにするとともに、いずれも確認できないものに対して、抗体検査や予防接種を推奨する。

（注）平成26年度については、検査費用の助成を実施（平成25年度補正予算 約12億円）

○先天性風しん症候群の児への医療等の提供

日本医師会や関係学会等と連携し、先天性風しん症候群と診断された児が症状に応じ適切な医療や支援制度を受けられるよう、情報提供及び制度のより適切な運用等を行う。

○公布日

平成26年3月28日（平成26年4月1日適用）。

風しんの推定感受性者数

- 平成25年流行予測調査結果及び総務省統計局人口推計(平成25年10月1日時点)から感受性者数(HI<8倍)を推計。
 - 1-49歳の感受性者は男性3,677,193人、女性1,274,858人、合計4,952,051人
 - 20-49歳の感受性者数は男性3,236,324人、女性886,448人、合計4,122,772人

推計感受性者数	平成20年*	平成24年*	平成25年
20-49歳男女	503万人	475万人	412万人
1-49歳男女	746万人	618万人	495万人

*第5回風しんの小委員会(H20年)及び職場における風しん対策ガイドライン(H24年)より引用

風しんの抗体検査事業について

1. 背景

平成25年の風しんの流行により、14,000人以上の風しん患者と44人の先天性風しん症候群(※)患者が報告された。

※ 風しんウイルスの胎内感染によって先天異常を起こす感染症

2. 目的

予防接種が必要である者を抽出するための抗体検査や情報提供を行うことにより、効果的な予防接種を実施し、風しんの感染予防やまん防止を図る。

3. 内容

風しん予防の普及啓発活動を実施し、今年度、集中的に風しん抗体検査を受検していただく。

① 主として妊娠を希望する女性に対する風しん抗体検査費用の助成

② ラジオやホームページ等の媒体を通じた風しん予防の普及啓発活動

予防接種(任意接種)
の実施

風しん患者
全体の減少
につなげる。

今後の対策について

- 流行が見られない中での普及啓発と対策の推進。
- 定期接種率の維持・向上。
- 多くの自治体で実施している、妊娠を希望する女性を主な対象とした風しんの抗体検査費用の助成事業（平成25年度補正予算）の更なる推進。
- 麻疹排除の認定に向けた取組の支援。

再々改訂総合表 都道府県別麻疹ワクチン接種率 2013年度最終評価 接種対象群別結果一覧

2013年4月1日～2014年3月31日

95%以上	90～95%未満	80～90%未満	70～80%未満	70%未満
No.	都道府県	第1期	第2期	
	合計	95.5	93.0	
1	北海道	94.2	94.7	
2	青森県	94.0	95.6	
3	岩手県	95.1	94.5	
4	宮城県	98.6	93.3	
5	秋田県	97.4	96.3	
6	山形県	97.2	95.0	
7	福島県	93.2	91.6	
8	茨城県	96.3	94.7	
9	栃木県	97.3	93.5	
10	群馬県	96.7	95.2	
11	埼玉県	95.9	92.4	
12	千葉県	96.4	92.9	
13	東京都	95.9	89.7	
14	神奈川県	96.3	91.1	
15	新潟県	96.3	96.3	
16	富山県	94.2	94.7	
17	石川県	94.7	95.1	
18	福井県	94.8	94.7	
19	山梨県	95.4	93.8	
20	長野県	97.2	94.0	
21	岐阜県	96.5	91.4	
22	静岡県	97.0	93.0	
23	愛知県	96.4	94.4	
24	三重県	95.5	92.1	
25	滋賀県	95.6	93.3	
26	京都府	91.0	94.3	
27	大阪府	95.1	92.2	
28	兵庫県	95.4	94.0	
29	奈良県	94.5	92.8	
30	和歌山県	95.6	93.9	
31	鳥取県	98.6	93.8	
32	島根県	94.3	94.6	
33	岡山県	94.5	94.9	
34	広島県	94.5	91.1	
35	山口県	96.2	93.8	
36	徳島県	94.2	92.5	
37	香川県	92.9	95.5	
38	愛媛県	96.0	91.5	
39	高知県	95.1	92.1	
40	福岡県	96.6	94.5	
41	佐賀県	93.7	93.9	
42	長崎県	91.3	93.9	
43	熊本県	92.6	97.3	
44	大分県	94.5	94.5	
45	宮崎県	94.5	94.6	
46	鹿児島県	94.8	88.5	
47	沖縄県	92.3	88.9	

厚生労働省健康局結核感染症課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

再々改訂総合表 都道府県別風しんワクチン接種率 2013年度最終評価 接種対象群別結果一覧

2013年4月1日～2014年3月31日

95%以上	90～95%未満	80～90%未満	70～80%未満	70%未満
No.	都道府県	第1期	第2期	
	合計	95.5	93.0	
1	北海道	94.2	94.7	
2	青森県	94.0	95.6	
3	岩手県	95.1	94.5	
4	宮城県	98.6	93.3	
5	秋田県	97.3	96.3	
6	山形県	97.2	95.0	
7	福島県	93.2	91.6	
8	茨城県	96.3	94.7	
9	栃木県	97.3	93.5	
10	群馬県	96.7	95.2	
11	埼玉県	95.9	92.4	
12	千葉県	96.4	92.9	
13	東京都	95.9	89.7	
14	神奈川県	96.3	91.1	
15	新潟県	96.3	96.3	
16	富山県	94.2	94.7	
17	石川県	94.7	95.1	
18	福井県	94.8	94.7	
19	山梨県	95.3	93.8	
20	長野県	97.2	94.0	
21	岐阜県	96.5	91.4	
22	静岡県	97.0	93.0	
23	愛知県	96.4	94.4	
24	三重県	95.5	92.1	
25	滋賀県	95.6	93.3	
26	京都府	91.0	94.3	
27	大阪府	95.1	92.2	
28	兵庫県	95.4	94.0	
29	奈良県	94.6	92.8	
30	和歌山県	95.6	93.9	
31	鳥取県	98.6	93.8	
32	島根県	94.3	94.6	
33	岡山県	94.5	94.8	
34	広島県	94.6	91.1	
35	山口県	96.2	93.8	
36	徳島県	94.2	92.5	
37	香川県	92.9	95.5	
38	愛媛県	96.0	91.5	
39	高知県	95.1	92.1	
40	福岡県	96.5	94.5	
41	佐賀県	93.7	93.9	
42	長崎県	91.3	93.9	
43	熊本県	92.6	97.3	
44	大分県	94.5	94.5	
45	宮崎県	94.5	94.6	
46	鹿児島県	94.8	88.5	
47	沖縄県	92.3	88.9	

厚生労働省健康局結核感染症課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

平成25年度（2013年度） 再々改訂第1期 麻しん風しんワクチン接種状況 【2013年4月1日～2014年3月31日】

麻しんワクチン接種率:95.5 %
(宮城県 98.6 % ~ 京都府 91.0 %)

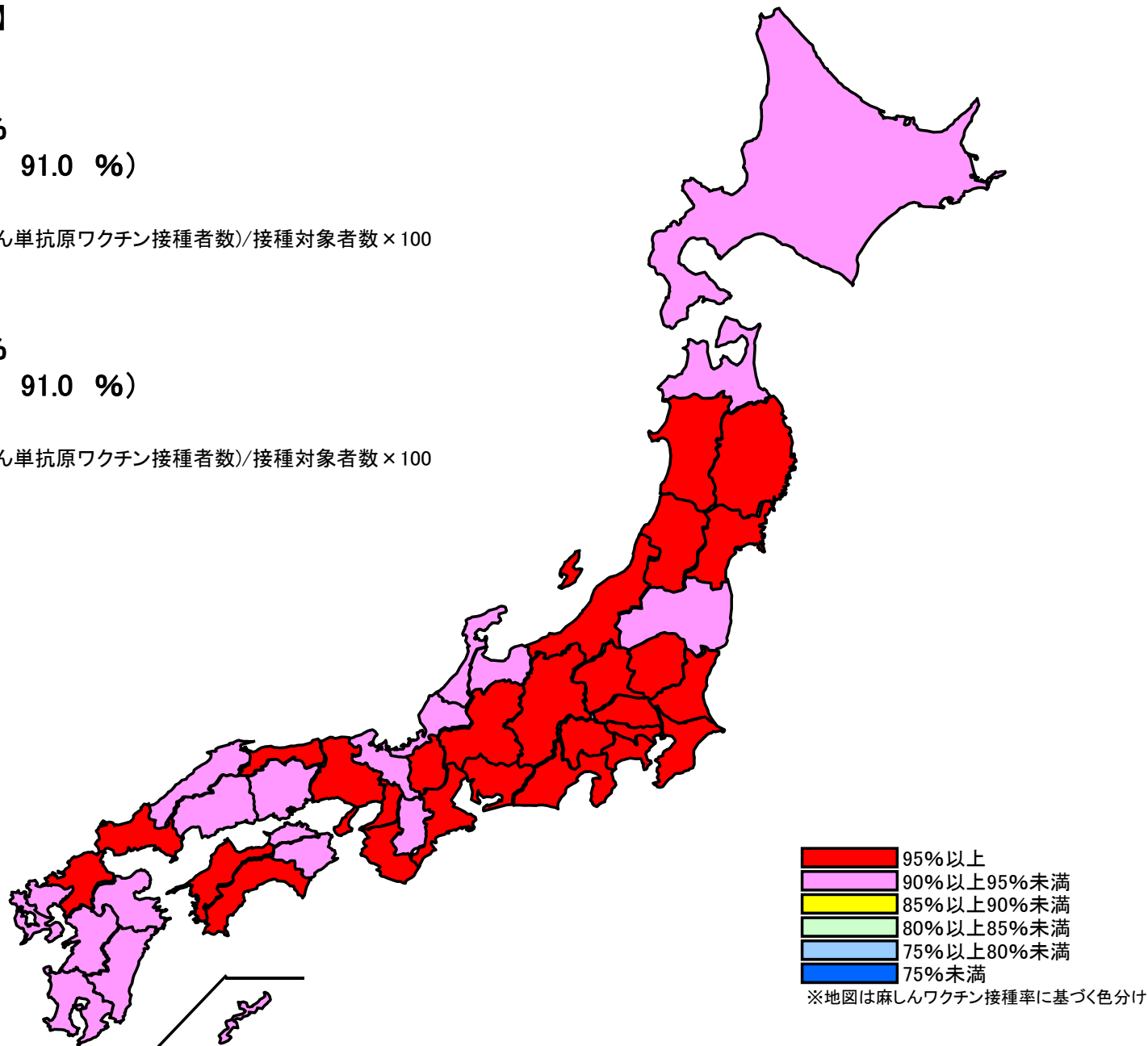
※麻しんワクチン接種率(%)

= (麻しん風しん混合ワクチン接種者数+麻しん単抗原ワクチン接種者数) / 接種対象者数 × 100

風しんワクチン接種率:95.5 %
(宮城県 98.6 % ~ 京都府 91.0 %)

※風しんワクチン接種率(%)

= (麻しん風しん混合ワクチン接種者数+風しん単抗原ワクチン接種者数) / 接種対象者数 × 100



平成25年度（2013年度） 再々改訂第2期 麻しん風しんワクチン接種状況 【2013年4月1日～2014年3月31日】

麻しんワクチン接種率:93.0 %
(熊本県 97.3 % ~ 鹿児島県 88.5 %)

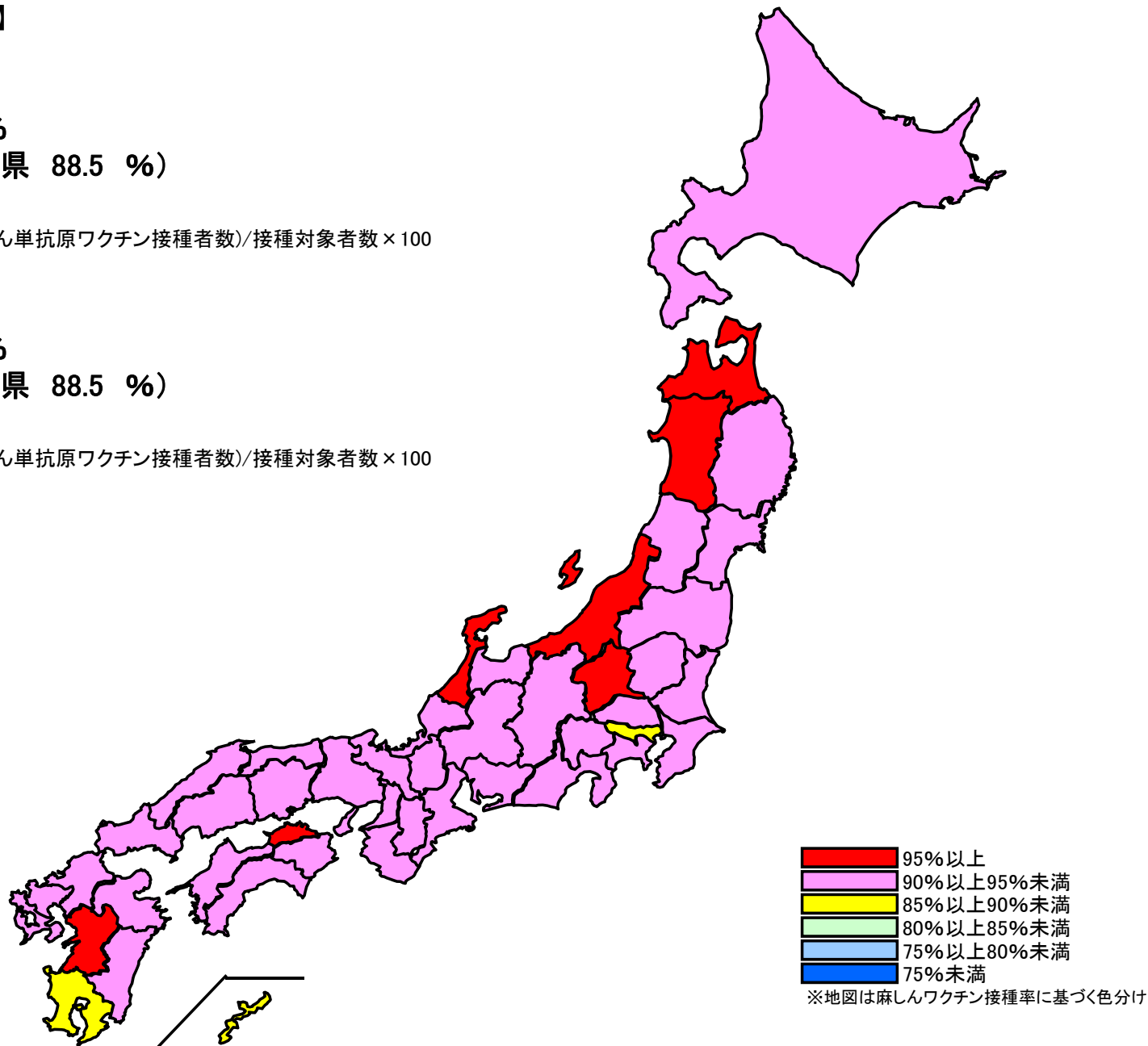
※麻しんワクチン接種率(%)

= (麻しん風しん混合ワクチン接種者数+麻しん単抗原ワクチン接種者数) / 接種対象者数 × 100

風しんワクチン接種率:93.0 %
(熊本県 97.3 % ~ 鹿児島県 88.5 %)

※風しんワクチン接種率(%)

= (麻しん風しん混合ワクチン接種者数+風しん単抗原ワクチン接種者数) / 接種対象者数 × 100



再々改訂表1-1 2013年度 第1期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2014年3月31日現在、最終評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく
 接種対象者数①は2013年10月1日現在の第1期対象者の数、②、③、④は2013年度における接種者の数
 MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2013年度 第1期
 2013年4月1日～2014年3月31日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

第1期

順位	都道府県	第1期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数(人)： ②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤ = (②+ ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥ = (②+ ④) / ① × 100
	合計	1,051,564	1,004,521	107	85	95.5	95.5
1	宮城県	18,659	18,402	1	0	98.6	98.6
	鳥取県	4,668	4,603	0	0	98.6	98.6
3	秋田県	6,455	6,283	1	0	97.4	97.3
4	栃木県	16,019	15,584	1	0	97.3	97.3
5	山形県	8,372	8,141	0	0	97.2	97.2
	長野県	17,174	16,684	1	2	97.2	97.2
7	静岡県	31,279	30,340	3	2	97.0	97.0
8	群馬県	15,184	14,688	1	1	96.7	96.7
9	福岡県	45,798	44,212	8	3	96.6	96.5
10	岐阜県	16,954	16,356	2	1	96.5	96.5
11	千葉県	49,818	48,024	5	6	96.4	96.4
	愛知県	69,587	67,108	0	0	96.4	96.4
13	茨城県	23,263	22,391	1	1	96.3	96.3
	神奈川県	76,421	73,602	9	4	96.3	96.3
	新潟県	17,348	16,705	1	3	96.3	96.3
16	山口県	10,944	10,530	2	1	96.2	96.2
17	愛媛県	11,192	10,743	0	0	96.0	96.0
18	埼玉県	59,197	56,792	4	5	95.9	95.9
	東京都	107,851	103,370	22	21	95.9	95.9
20	滋賀県	13,501	12,904	1	1	95.6	95.6
	和歌山県	7,507	7,177	0	0	95.6	95.6
22	三重県	15,235	14,549	0	0	95.5	95.5
23	山梨県	6,455	6,154	1	0	95.4	95.3
	兵庫県	47,100	44,940	2	2	95.4	95.4
	岩手県	9,300	8,843	0	0	95.1	95.1
25	大阪府	74,156	70,513	20	5	95.1	95.1
	高知県	5,139	4,886	0	0	95.1	95.1
28	福井県	6,701	6,350	0	0	94.8	94.8
	鹿児島県	15,072	14,284	0	0	94.8	94.8
30	石川県	9,654	9,139	2	0	94.7	94.7
	奈良県	10,764	10,174	1	11	94.5	94.6
31	岡山県	16,514	15,598	1	4	94.5	94.5
	広島県	25,225	23,849	1	5	94.5	94.6
	大分県	9,755	9,221	1	0	94.5	94.5
	宮崎県	9,943	9,392	0	1	94.5	94.5
36	島根県	5,624	5,301	0	0	94.3	94.3
37	北海道	38,758	36,524	3	2	94.2	94.2
	富山県	8,107	7,637	0	0	94.2	94.2
	徳島県	5,935	5,592	0	1	94.2	94.2
40	青森県	9,170	8,620	0	0	94.0	94.0
41	佐賀県	7,561	7,083	0	1	93.7	93.7
42	福島県	13,868	12,924	2	0	93.2	93.2
43	香川県	8,480	7,877	0	0	92.9	92.9
44	熊本県	16,248	15,050	0	0	92.6	92.6
45	沖縄県	16,971	15,657	0	0	92.3	92.3
46	長崎県	11,934	10,891	1	1	91.3	91.3
47	京都府	20,704	18,834	9	1	91.0	91.0

厚生労働省健康局結核感染症課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

再々改訂表1-2 2013年度 第2期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2014年3月31日現在、最終評価

順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は2013年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2013年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

2013年度 第2期
2013年4月1日～2014年3月31日

95%以上 90～95%未満 80～90%未満 70～80%未満 70%未満

第2期

順位	都道府県	第2期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数(人)： ②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤ = (②+ ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥ = (②+ ④) / ① × 100
	合計	1,102,300	1,024,753	79	76	93.0	93.0
1	熊本県	16,333	15,888	0	0	97.3	97.3
2	秋田県	7,477	7,200	0	0	96.3	96.3
	新潟県	18,701	18,006	3	1	96.3	96.3
4	青森県	10,179	9,735	0	0	95.6	95.6
5	香川県	8,743	8,349	0	0	95.5	95.5
6	群馬県	17,334	16,496	1	2	95.2	95.2
7	石川県	10,493	9,984	0	0	95.1	95.1
8	山形県	9,338	8,872	0	0	95.0	95.0
9	岡山県	17,450	16,543	9	7	94.9	94.8
	北海道	41,191	39,016	2	2	94.7	94.7
10	茨城県	25,265	23,914	1	3	94.7	94.7
	富山県	8,877	8,405	2	1	94.7	94.7
	福井県	7,273	6,885	0	0	94.7	94.7
14	島根県	5,920	5,602	0	0	94.6	94.6
	宮崎県	10,523	9,953	1	0	94.6	94.6
	岩手県	10,240	9,679	1	0	94.5	94.5
16	福岡県	46,658	44,076	2	0	94.5	94.5
	大分県	10,180	9,624	0	1	94.5	94.5
19	愛知県	70,405	66,488	1	0	94.4	94.4
20	京都府	21,879	20,624	3	1	94.3	94.3
21	長野県	18,890	17,750	1	0	94.0	94.0
	兵庫県	49,414	46,441	1	3	94.0	94.0
	和歌山県	7,987	7,503	0	0	93.9	93.9
23	佐賀県	7,921	7,435	0	0	93.9	93.9
	長崎県	12,136	11,396	0	0	93.9	93.9
	山梨県	7,180	6,733	0	1	93.8	93.8
26	鳥取県	5,071	4,757	0	0	93.8	93.8
	山口県	11,836	11,106	2	0	93.8	93.8
29	栃木県	17,556	16,422	0	0	93.5	93.5
	宮城県	19,969	18,623	1	0	93.3	93.3
30	滋賀県	14,103	13,154	2	6	93.3	93.3
32	静岡県	33,752	31,395	0	1	93.0	93.0
33	千葉県	53,922	50,080	3	5	92.9	92.9
34	奈良県	11,762	10,914	0	1	92.8	92.8
35	徳島県	6,294	5,823	0	0	92.5	92.5
36	埼玉県	63,712	58,864	4	5	92.4	92.4
37	大阪府	76,217	70,264	12	7	92.2	92.2
	三重県	16,583	15,277	1	0	92.1	92.1
38	高知県	5,722	5,269	0	0	92.1	92.1
40	福島県	15,909	14,574	0	0	91.6	91.6
41	愛媛県	12,074	11,045	0	0	91.5	91.5
42	岐阜県	18,580	16,988	1	1	91.4	91.4
	神奈川県	79,416	72,377	8	9	91.1	91.1
43	広島県	25,881	23,572	2	0	91.1	91.1
45	東京都	103,775	93,101	15	19	89.7	89.7
46	沖縄県	16,878	15,002	0	0	88.9	88.9
47	鹿児島県	15,301	13,549	0	0	88.5	88.5

厚生労働省健康局結核感染症課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

再々改訂表2 2013年度最終評価 都道府県別麻疹ワクチン接種率 伸び率の比較

伸び率が高い5都道府県
2013年3月末と2014年3月末の比較

No.	都道府県	伸び率(ポイント)	
		第1期	第2期
	合計	-2.0	-0.7
1	北海道	-2.5	0.2
2	青森県	-5.5	-1.4
3	岩手県	-3.7	0.7
4	宮城県	0.3	-2.7
5	秋田県	2.3	-0.5
6	山形県	-3.3	-1.0
7	福島県	-1.8	-0.6
8	茨城県	-1.2	-0.5
9	栃木県	-0.2	-1.4
10	群馬県	1.4	-0.3
11	埼玉県	-2.1	-0.6
12	千葉県	-0.9	-0.7
13	東京都	-2.1	-2.1
14	神奈川県	-0.9	-1.8
15	新潟県	-2.0	-0.5
16	富山県	-6.6	-1.7
17	石川県	-5.1	-0.1
18	福井県	-5.1	-0.5
19	山梨県	-0.8	0.3
20	長野県	3.5	-0.6
21	岐阜県	0.7	-0.9
22	静岡県	-0.7	1.6
23	愛知県	-0.4	0.6
24	三重県	-1.7	-1.5
25	滋賀県	-3.0	-2.0
26	京都府	-6.3	0.2
27	大阪府	-3.0	-0.8
28	兵庫県	-3.3	0.6
29	奈良県	-1.0	1.7
30	和歌山県	-5.5	-0.4
31	鳥取県	-0.4	-1.1
32	島根県	-6.3	-1.5
33	岡山県	-2.1	-0.9
34	広島県	-3.1	-1.9
35	山口県	1.9	0.1
36	徳島県	-6.4	-5.1
37	香川県	-5.4	0.2
38	愛媛県	-1.1	-2.3
39	高知県	-0.3	0.8
40	福岡県	-1.9	-1.4
41	佐賀県	-6.0	-0.6
42	長崎県	-6.8	0.2
43	熊本県	-5.5	2.6
44	大分県	-3.0	1.4
45	宮崎県	-4.7	0.3
46	鹿児島県	-0.1	-1.4
47	沖縄県	-1.7	-1.4

参考: 2014年3月末

No.	都道府県	第1期	第2期
	合計	95.5	93.0
1	北海道	94.2	94.7
2	青森県	94.0	95.6
3	岩手県	95.1	94.5
4	宮城県	98.6	93.3
5	秋田県	97.4	96.3
6	山形県	97.2	95.0
7	福島県	93.2	91.6
8	茨城県	96.3	94.7
9	栃木県	97.3	93.5
10	群馬県	96.7	95.2
11	埼玉県	95.9	92.4
12	千葉県	96.4	92.9
13	東京都	95.9	89.7
14	神奈川県	96.3	91.1
15	新潟県	96.3	96.3
16	富山県	94.2	94.7
17	石川県	94.7	95.1
18	福井県	94.8	94.7
19	山梨県	95.4	93.8
20	長野県	97.2	94.0
21	岐阜県	96.5	91.4
22	静岡県	97.0	93.0
23	愛知県	96.4	94.4
24	三重県	95.5	92.1
25	滋賀県	95.6	93.3
26	京都府	91.0	94.3
27	大阪府	95.1	92.2
28	兵庫県	95.4	94.0
29	奈良県	94.5	92.8
30	和歌山県	95.6	93.9
31	鳥取県	98.6	93.8
32	島根県	94.3	94.6
33	岡山県	94.5	94.9
34	広島県	94.5	91.1
35	山口県	96.2	93.8
36	徳島県	94.2	92.5
37	香川県	92.9	95.5
38	愛媛県	96.0	91.5
39	高知県	95.1	92.1
40	福岡県	96.6	94.5
41	佐賀県	93.7	93.9
42	長崎県	91.3	93.9
43	熊本県	92.6	97.3
44	大分県	94.5	94.5
45	宮崎県	94.5	94.6
46	鹿児島県	94.8	88.5
47	沖縄県	92.3	88.9

参考: 2013年3月末

No.	都道府県	第1期	第2期	第3期	第4期
	合計	97.5	93.7	88.8	83.2
1	北海道	96.7	94.5	84.7	83.8
2	青森県	99.5	97.0	95.6	90.7
3	岩手県	98.8	93.8	90.9	91.3
4	宮城県	98.3	96.0	89.9	85.8
5	秋田県	95.1	96.8	94.5	93.5
6	山形県	101	96.0	93.9	94.8
7	福島県	95	92.2	86.9	83.7
8	茨城県	97.5	95.2	96.9	87.6
9	栃木県	97.5	94.9	94.9	89.9
10	群馬県	95.3	95.5	94.7	88.5
11	埼玉県	98	93.0	88.3	81.2
12	千葉県	97.3	93.6	91.4	80.5
13	東京都	98	91.8	87.5	77.3
14	神奈川県	97.2	92.9	83.6	68.2
15	新潟県	98.3	96.8	95.2	91.5
16	富山県	101	96.4	96.4	93.7
17	石川県	99.8	95.2	93.0	90.4
18	福井県	99.9	95.2	94.6	91.5
19	山梨県	96.2	93.5	90.1	85.5
20	長野県	93.7	94.6	93.4	87.0
21	岐阜県	95.8	92.3	91.7	87.4
22	静岡県	97.7	91.4	88.7	87.9
23	愛知県	96.8	93.8	86.6	86.9
24	三重県	97.2	93.6	88.5	86.3
25	滋賀県	98.6	95.3	84.9	84.0
26	京都府	97.3	94.1	93.4	79.1
27	大阪府	98.1	93.0	89.6	78.2
28	兵庫県	98.7	93.4	87.5	83.0
29	奈良県	95.5	91.1	85.3	85.5
30	和歌山県	101	94.3	92.6	87.8
31	鳥取県	99	94.9	91.7	89.9
32	島根県	101	96.1	94.2	94.7
33	岡山県	96.6	95.8	91.6	87.7
34	広島県	97.6	93.0	87.4	82.0
35	山口県	94.3	93.7	90.9	88.3
36	徳島県	101	97.6	91.6	90.0
37	香川県	98.3	95.3	91.1	87.3
38	愛媛県	97.1	93.8	86.5	81.4
39	高知県	95.4	91.3	86.8	81.9
40	福岡県	98.5	95.9	83.4	79.5
41	佐賀県	99.7	94.5	88.2	90.2
42	長崎県	98.1	93.7	89.5	89.2
43	熊本県	98.1	94.7	91.4	86.9
44	大分県	97.5	93.1	89.5	88.2
45	宮崎県	99.2	94.3	90.9	86.3
46	鹿児島県	94.9	89.9	80.3	85.7
47	沖縄県	94	90.3	78.4	81.4

厚生労働省健康局結核感染症課、国立感染症研究所感染症疫学センター

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入